

# 「仲景杯」全国学生漢方選手権大会

## 《開催要綱》

主催：第76回日本東洋医学会学術総会  
共催：日本漢方医学教育振興財団

### ＜大会事務局＞

第76回日本東洋医学会学術総会 運営事務局  
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1  
セレスティン芝三井ビルディング 12F  
E-mail: [76jsom@jtbcom.co.jp](mailto:76jsom@jtbcom.co.jp) / Tel: 03-5657-0777

### ＜第76回日本東洋医学会学術総会 HP＞

<https://convention.jtbcom.co.jp/76jsom>



全国学生漢方選手権大会

## 「仲景杯」全国学生漢方選手権大会 開催要綱

会の名称	第4回 「仲景杯」全国学生漢方選手権大会
日時	2026年6月13日(土) 14:30~17:30
会場	富山市民プラザ 2F ギャラリーA 【第8会場】
主催	第76回日本東洋医学会学術総会
共催	日本漢方医学教育振興財団
責任者	会頭 貝沼 茂三郎 (富山大学学術研究部医学系和漢診療学講座 教授/ 富山大学附属病院和漢診療科・診療科長)
運営組織	準備実行委員長 梁 哲成(やんハーブクリニック 院長) 顧問 並木 隆雄 (国際医療福祉大学成田病院 予防医学センター 病院教授) 貝沼 茂三郎 (富山大学学術研究部医学系和漢診療学講座 教授/ 富山大学附属病院和漢診療科・診療科長)

開催趣旨	<p>2千年以上の歴史をもつ東洋医学は、つい百数十年前の幕末までは、こと内科医学について世界最高水準を誇っていました。世界の近代化の歴史の変遷によって遠ざけられたこの医学も、その有効性によって決して埋もれることなく脈々と生き続け、医療用漢方エキス製剤の保険適応を経て、現代では日本の医科系大学の講座に取り上げられ、この日本では臨床医の多くが当たり前到处方する時代になりました。</p> <p>とは言え、東洋医学の講義はわずかであり、医学生は本格的な教育を受けているわけではありません。そんな中でも、東洋医学に興味を持って活動する医学生が全国に多数おり、一部の地域では交流が盛んにはかかれていますし、SNS上においては全国的な交流も起こり始めているようです。そこで、このたび、各地から医学生有志を一堂に参集し、東洋医学を楽しみ、学び、交流することは、医学生にとって、東洋医学教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えました。21世紀に入り、現代医学は現代数学と現代自然科学を応用することで急速な発展を遂げている一方、EBMからめられる患者らはむしろ臨床の場から遠ざけられている傾向にあります。東洋医学にも東洋医学なりの科学的根拠があり、それによって患者の病態を論理的に分析し対策をたてる独自の方法論があります。これを身につけることで、臨床から遠ざけられた患者の多くを救うことにもつながります。東洋医学は、整然とした美しい構造と体系をもった学問です。</p>
------	---

次代を担う医学生たちの豊かな創造性や軽やかな感受性を刺激することは間違いありません。彼らはこの東京の地でその東洋医学の魅力を我々の前にみごとに開いてくれることでしょう。以上のように＜仲景杯＞は東洋医学を通じ学生間の交流と若者の知的活動の活性化に必ず寄与するものと確信を持っています。

梁 哲成

## 大会概要

### 《大会について》

1. 大会は、対面のみで行います。
2. 大会は、応募チームで開催いたします。（※応募方法は応募要項を参照）
3. 参加チームは、15チーム前後を目安とします。多数の応募があった場合は、募集期間中でも応募を締切ることがあります。
4. 大会は、＜仲景杯＞準備実行委員会の出題担当者が提示した“シミュレーション問題”の解答を各参加チームがプレゼンテーションし、その後、他のチームとの討論を行います。それらを審査委員が総合評価して、優勝・準優勝・審査委員特別賞を争う形式で行います。
5. **6月10日(水)の17:00**に、全参加チームへ斉にシミュレーション問題をメール添付で送付します。
6. シミュレーション問題は実際の症例を題材にしていますが、完全に出題用にアレンジしてあります。
7. 各参加チームは、**6月13日(土)の10:00まで**に、当日発表で使用するPPTスライド原稿と、PDFに変換した原稿（6頁/1枚）を指定するアップロード先に提出してください。**提出後、発表スライドの変更は一切受けません。**
8. 大会当日の6月13日(土)の12:00までに全チームのスライド原稿（PDF）を公開いたします。
9. 各チームは公開されたスライド原稿（PDF）を参考に討論を行ってください。
10. 大会当日の発表順は予めグループラインによる抽選会で決定いたします。
11. 14:30から開会の儀を行い、14:40から各チームのプレゼンテーションと質疑応答を開始します。
12. プレゼンテーションは5分以内（未定）、質疑応答は質疑1分以内、質疑応答1分以内で行い、1チームの発表と質疑応答は併せて8～10分以内を予定しています。

13. プレゼンテーションは、PPT スライドを用いながら、方証相対や弁証論治など：主に症状・所見の分析と東洋医学的診断の過程、方剤選択の根拠、最終的に処方する方剤、方剤の内服回数と方法、生活指導などの解説で行うが、適宜、現代医学的な病態分析とその（疑いもしくは確定）診断や、必要な現代医学的な検査と対策も現代医学的根拠をあげて追加解説してください。
14. 最終的に処方する方剤は、日本の医療用漢方エキス製剤に限られます。処方数はできるだけ単剤とし、もし併用する場合は2剤までで十分な根拠を挙げてください。
15. 質疑応答は各チーム1,2回程度行うことが出来ます。質疑応答の形式は、未定。
16. 全発表と質疑応答終了後、審査委員による審査を行い、優勝・準優勝・第三位・漢方部門優秀賞・中医学部門優秀賞・審査委員特別賞の発表と表彰を行います。

## 《評価基準》

1. 審査委員は、4名で構成します。
2. 審査員は、各チームのプレゼンテーションと討論の内容について、（漢方もしくは中医学などのいずれかの立場で）一貫性があり、論理的に必要なかつ十分な分析と考察が行われていたかどうかを評価します。（また、診療上で必要な現代医学的な対応があれば、それについても評価の対象になることもあります。）
3. 審査員は、各チームのプレゼンテーションが分かりやすいかを、（PPT スライド、手順、語り口などで）評価します。
4. 審査委員は、各チームの質問が的を射たかどうかを評価します。
5. 審査委員は、各チームの応答が的確かどうかを評価します。
6. これらの評価点の総点で優勝と準優勝が決定されます。同点の場合は、審査委員及び出題者の検討のうえ、全員一致で決定します。決定できなかった場合は、出題者に一任で決定します。
7. 審査の際、漢方・中医学各部門で優れた発表をしていたチームに対して審査委員の中から推薦があり、全員一致で認められたチームについては、各部門賞が与えられます。
8. 審査の際、特に個性的で優れた発表や質疑応答をしていたチームに対して審査委員の中から推薦があり、全員一致で認められたチームについては、審査委員特別賞が与えられます。
9. プレゼンテーションと質疑応答は時間厳守が求められます。時間がオーバーした場合は進行中に警告されます。なお繰返し警告された場合は減点の対象となります。

## 《大会精神》

『仲景杯』は東洋医学のフィールドで、医学生の論理性と表現力を競う場であり、決して意見の異なる個人や団体を誹謗中傷する場ではないので、厳しくフェア精神が求められます。これに反したと審査委員が判断した場合は、直ちに発表や討論が中止され、大きな減点対象、または退場といたします。

### 大会スケジュール

2026年6月10日（水）	
17:00	シミュレーション問題 送付  ※チーム代表者のメールアドレスに、一斉送信いたします。 代表者の方は、受信した旨を運営事務局へ返信してください。
2026年6月13日（土）	
10:00 ※厳守	WindowsによるPPT発表スライドと、それをPDFに変換した原稿を指定した場所に提出してください。  ※ <u>提出後、発表スライドの変更は一切受けません。</u>
12:00	全チームのスライド原稿（PDF）を公開いたします。 討論の準備に活用してください。
14:30	開会式
14:40	発表・討論
16:40	審査
17:10 ～ 17:30	※参加チームは17:00までに会場へお戻りください。 表彰式
18:30	懇親会